

日高町地域公共交通活性化協議会

平成21年2月26日設置
平成22年3月15日連携計画策定



概要

日高町は、平成18年に旧日高町と旧門別町が飛び地合併により発足した町であるが、広い行政面積を有し中心部に市街地がある。他は集落が分散しており、バスの運行系統についても合併前の系統を踏襲したままであることから、農村部における運行効率が低く、バス事業者の赤字が増大している。さらに官民の各種バスが併存した非効率な運行となっているため、早期に地域全体の公共交通のあり方の検討が課題となっていることからデマンド型運行の導入、スクールバスの小中高生との混乗化、日高地域と門別地域を結ぶ路線の構築、町営バスによる一元化等を行うことにより、利便性・効率性の高い交通体系の構築を図る。

○デマンド型運行の導入(22年度～)

〈門別地域〉

- ・広富、庫富、幾千世、豊郷、清畠、厚賀地区に運行している3路線のバスは利用者が少ないことから利便性の向上を図るため、デマンド型運行の実証運行を行う。
- ・厚賀市街地～富川市街地を結ぶ路線をデマンド型運行の実証運行を行う。

〈日高地域〉

- ・日高地域を運行している町営バス4路線のうち、利用者の少ない岩内ダム線、千栄線の2路線をデマンド型運行の実証運行を行う。

○スクールバスの小中高生との混乗化(22年度～)

- ・門別地域に運行している6路線のスクールバスにおいて空き座席を有効活用するため、小中高生との混乗化を行う。

○日高地域と門別地域を結ぶ路線の構築(23年度～)

- ・2地域間の路線バスは本数が少なく、乗換えが必要なため、両地域にある温泉、スキー場等主要施設を相互利用を可能とする路線の構築を図る。

○町営バスによる一元化(25年度～)

- ・門別地域沢沿い区間の路線バス、スクールバス、温泉バスは並行して運行しており、ダイヤの重複など非効率な運行を行っているため、町営バスによる一元化の検討を行う。

